

令和3年 第3回（6月）志免町議会定例会一般質問通告書

通 告 順

番号	質問者	質問時間	件 名	要 旨	具 体 的 質 問 内 容	質問の相手
1	稲 永 隆 義	3 0 分	1. 第2期志免町中期財政計画（令和3年度～令和7年度）について。	(1) この財政計画は住民の方々のご心配に込えているか。厳しい財政見直しに対する対応策は？最低でも 10 年後までの計画を！	①前期の志免町中期財政計画（平成 27 年～平成 31 年）の総括を伺う。 ②第2期志免町中期財政計画の骨子を伺う。 ③具体的に伺う。 i. 歳入の見直しについて。 町税、地方交付税、地方債、ふるさと納税寄附金等。 ii. 歳出の見直しについて。 公債費、普通建設事業費（公共施設個別施設計画に基づく改修費）等。 iii. 歳入－歳出（収支）の見直しについて。 iv. 基金取り崩し及び町債残高の見直しについて。 ④厳しい財政見直しに対する対応策を伺う。 ⑤志免町公共施設個別施設計画は令和 2 年度から 25 年間の計画で昨年開始されたばかり。財政計画も最低でも 10 年分は示すべきと考えるが、町長の考えを伺う。	町 長
2	木 村 俊 次	3 0 分	1. 志免町の農業（農地）について。 (現況、課題) 2. 志免町の高齢者（2025 年問題）について。	(1) 農業人口、面積。 (2) 農業所得について。 (3) 都市計画の見直しについて。 (1) 2025 年の後期高齢者について。 (2) 志免町の医療問題について。 (3) 志免町の介護問題について。 (4) 2025 年問題について。	①志免町の 1 0 年前、5 年前、現在の農地面積。 ②農業従事者数、平均年齢。 ①田一反当たりの収支について。 ②休耕田管理費。 ③後継者について（若者の参入について）。 ①計画作成時の人口と現在の人口について。 ②市街化区域と市街化調整区域の土地価格について。 志免町と全国の人口推移と高齢化推移について。 ①75 歳以上の人口と割合（2010、2020、2025、2035 年）、現在の志免町小学校区別の高齢化率。 ①高齢者は若い人に比べて病気にかかりやすく、病院へ行く頻度も増え、処方される薬の種類、量も多くなりがち。高齢者の医療費自己負担額は原則 1 割だが、残りの費用は国や自治体の負担。今後の町の負担をどう予測しているか。 ①介護サービスを利用する高齢者が増え、介護保険の財源も厳しくなることが予測されるが、今後の見通しは。 ②認知症や寝たきりの高齢者が増えると、特別養護老人ホームの需要も高くなり、行き場のない要介護高齢者が想定を超えて増えてくると考えられるが、どのように対応していくのか。 ①2025 年問題について、町長の見解を伺う。	町 長
3	丸 山 卓 嗣	3 0 分	1. 都市計画について。	(1) 建ぺい率・容積率・高さ制限の緩和について。 (2) 建ぺい率・容積率・高さ制限の緩和を進めるにあたって。	①建ぺい率・容積率・高さ制限の内容確認について。 ②人口増加・定住化促進の観点から、2 世帯や 3 世帯で住める住宅の建築、バリアフリー住宅の新築・改築など、建ぺい率・容積率・高さ制限の緩和は必要であると考え。町の考えは。 ③福祉の充実の観点から、家族との同居や家族が近くに住むことを町が後押しするため、2 世帯や 3 世帯住宅の建築を可能とする制限の緩和が必要であると考え。究極の福祉は 3 世帯同居である。町の考えは。 ④制限の緩和がもたらす効果としては、人口増加・定住化の促進や福祉の充実に加えて、災害防止や災害対応の観点からも大きな一助を担うと考える。町の考えは。 ①具体的にどのような手続きが必要になるのか。 ②制限の緩和によるデメリットは。	町 長

			2. 志免町所有の空地の活用について。	(3)選ばれる志免町に。 (1)町が積極的に取り組みを。	①子育て世代、働き盛り世代、若い経営者が定住化を考えた際に選ばれる志免町であってほしい。志免町の強みはコンパクトな地形を武器として、家族や友人、郷土愛など人の繋がりを感じられるところであり、若い世代の流入が地域コミュニティーの醸成につながると考えるが、町内には新たに家を建てる場所が少なく、他市町へ流出している現状がある。町の認識と都市計画上の対応策は。 ②若い世代が志免町に住みたいと考えた際に、家を建てる場所として市街化調整区域の解除も視野に入れる考えは。 ①空地の活用において、都市計画上の制限や問題点は。 ②空地の活用、考え方を問う。	町長
4	亀崎 大介	30分	1. 奨学金返還支援事業を活用した定住促進について。	(1)奨学金の負担を軽減し定住促進するために、給付型の志免町独自の支援をしてはどうか。	①人数や金額を決めて可能な範囲からスタートしてみてはどうか。 ②条件として、 ・志免町に住み志免町で就職をした。 ・結婚して志免町に住んだ。 など様々な条件が考えられるが、志免町に合う条件を考えてみてはどうか。 ③ふるさと納税や企業版ふるさと納税を活用してはどうか。	町長
			2. 子育て支援について。	(1)人とのつながりの場を提供するために、特に未就学児を持つ親が参加できるオンラインでの雑談会(交流会)を開催できないのか。 (2)母親の睡眠不足解消について。 (3)子育てパスを作り志免町の生産やサービス、消費までを完結する努力をしてはどうか。	①移動や急な退席(宅配、おむつ、子どもの機嫌など)を考えるとメリットがあるのでは。 ②人とのつながりが確保できるのではないかな。 ③講師(進行役や悩みに答えられる方)の雇用確保にも繋がるのではないかな。 ①生涯学習館で託児をしてリフレッシュ講座のようなものを開催できないのか。 ②一時預かり保育を利用しやすくするためにお試し無料券を配布してはどうか。 ①例えば、「子育てパスを持っている方は数パーセント割引」など商工会と連携したサービスを行うことによって、子育て世帯の確保や消費喚起による税収増につながる。結果的に、全世代への支援に繋がるのではないかな。	町長
5	岩下 多絵	20分	1. コロナ禍 今こそ守ろうお口の健康！	(1)口腔機能の低下について。 (2)健康の源はお口の健康から。	①自粛生活やマスク生活が続く結果、人々に与える影響について(口腔編)。 i. 口呼吸による悪影響。 ii. コミュニケーションの減少による影響。 iii. 自粛による通院控え。 これまで、全身的な筋力や機能の低下防止を啓発する媒体は回覧板等で見かけるが、口腔に関するものはない。町としての関心や、必要性についての考えは。 ②口腔機能の低下は高齢者だけの問題ではない。 i. 子どもたちの近年の口腔衛生状態は。 ii. 今月は虫歯予防週間、保育園や小中学校での取り組みについて。通常、昼休みのハミガキ習慣は。 iii. 校医との連携は。 ①口腔ケアや口腔リハビリが大事。誤嚥性肺炎の予防につながる。コロナ禍の今こそ町民への自己管理意識を高めてもらうことが大事。 ②口腔環境で生活習慣の乱れがよくわかる。フレイル予防と一緒に広報で特集を組み、啓発を行ってみては。 ③最後に第6次総合計画中の施策8「健康づくりの推進」、特に8-1「町民の健康意識を高め、健康管理・健康づくり活動を促進する」に重点を置いている町としての考えは。	町長 教 育 長

6	牛 房 良 嗣	3 0 分	1.「シニア スマホ学習会」実践（案）に対する行政の積極的支援を。	(1)背景と緊急性。 デジタル庁、こども庁、小中 GIGA スクール等々、デジタル化へのスピードは速い。 (2)シニアは取り残され置いてきぼり。 (3)「シニア スマホ学習会」実践（案）。 (4)講師、アシスタントへの諸費用への行政支援を。 (5)「スマホ学習会」をシニアクラブから町内会全町へ拡大。	①デジタル庁がスタート、こども庁新設へ。 ②少人数 3 5 人学級、情報技術通信（ICT）推進。 ①シニア スマホが使えない人 6 0 歳代 2 5 %、7 0 歳以上 6 0 %。 ①アンケート実施、シニアの要望を。実践（案）。参加者 3 0 人以内。基礎、応用の 2 クラス。 初めての人グループ（基礎講座）、もう一歩使いこなしを希望するグループ（応用講座）2 つに分ける。 ②学習時間、基礎講座に 3 回、応用講座は 5 回。 ①講師、アシスタントへの諸費用。 ② ①以外、受講者表彰、努力賞 等々。 ③ 3 年間を対象。 ①孤独の解消、仲間づくり、健康づくり等々、シニアの活動範囲拡大へ。新しいシニアの誕生。志免町を日本一のシニア スマホ活用の町へ。	町 長
7	小 森 弘 美	3 0 分	1. コロナ禍における障がい者等への偏見防止について。 2. 誰もが生きがいを持って働ける環境づくりを。	(1)マスク着用が困難な方への対応について。 (1)町にとっての人材確保について。	①新型コロナの感染拡大を防ぐマスクを、やむを得ず着用できない方がおられるが、認知しているか。 ②小中学校でマスク着用困難な子どもへの対応は。 ③マスク着用が困難な方の町民への周知と啓発は。 ④マスク着用が困難なことを意思表示するカードやバッチを作成している団体があるが認知は。 ⑤志免町でも、マスク着用が困難なことを意思表示するカードやバッチを取り入れてみてはどうか。 ①志免町の会計年度任用職員のフルタイムとパートタイムの人数は。 ②フルタイム、パートタイムの女性と男性の割合は。 ③専門知識を持つ方（保健師・保育士・調理師・栄養士・介護支援専門員等）のフルタイムとパートタイムの人数は。 ④職務の量に対して適切な勤務時間の設定、職員数の確保はできているか。 ⑤町の職務にあたる全ての職員が大切な人材である。職員が勤務体制・報酬等について相談する窓口、待遇改善を行う体制はあるか。	町 長 町 教 育 長
8	藤 瀬 康 司	2 0 分	1. エアコン設備について。 2. 電子図書館について。	(1)小中学校体育館へのエアコン設置について。 (1)電子図書館の開設について。	①志免町立小中学校の教室にはエアコンがついている。 i. 設置した経緯。 ii. 設置後の先生、生徒、保護者から声はどうか。 ②町内公共施設でエアコンが設置されていない施設は。その中で避難所に指定されている施設は。 ③学校体育館は授業や部活動、災害時には町民の命を守る避難所になっている。 子供の育ち環境の観点と防災対策の観点から体育館にはエアコンが必要だと感じるが、エアコン設置に向けて課題や熱中症対策は。 ①令和 2 年 9 月議会で電子図書館について一般質問をしたが、教育長からは「時期尚早」と答弁があった。しかし、令和 2 年 12 月に宇美町、令和 3 年 3 月に福岡市が電子図書館を開設した。後に宇美町・福岡市が電子図書館を開設したことにどのように感じているか。 ②電子図書館では、インターネットを通じてパソコンやタブレット、スマートフォン等から電子書籍をかりることができる。 自粛生活を余儀なくされている今だからこそ電子図書館を開設すべきでは。	町 長 町 教 育 長

9	末藤 省三	30分	1. 子どもの環境について。	(1)子どもの環境について。	①電磁波（5G）への対策はどうなっているのか。 ②電磁波による過敏症、発達障害等の対策について。 ③ヤングケアラー実態調査について。 ④学校トイレに生理用品の備えを。 ⑤子どもの貧困対策推進計画はどのようになったか。実行率はどのようになったか。	町 長 教 育 長
			2. 住民の生活について。	(1)今後のさらなるデジタル化について。	①デジタル化で住民への影響をどう考えるか。 ②住民の生活はどのように変わると考えるか。 ③個人情報を守るのか。	町 長
10	古庄 信一郎	30分	1. 志免町役場、町関係団体、学校他におけるハラスメントの実態と対応策及び関係条例等について。	(1)志免町及び近隣町におけるハラスメントの事例と課題について。 (2)志免町の関係条例等の検証について。 (3)防止対応、相談から解決までのプロセスと課題について。	①ハラスメント防止に関する志免町の認識と基本的考え方について。 ②近隣町における職員のハラスメント報道について。 ③志免町の関係団体におけるパワハラ問題について。 ④志免町役場におけるハラスメントの実態は。 ⑤町の関係団体、学校他でのハラスメントの実態は。 ①志免町ハラスメント関連条例規則等の検証と近隣自治体との比較検証。 ②志免町職員懲戒審査委員会のありかたについて。 ③志免町職員分限に関する条例規則の矛盾について。 ④関係団体、学校等と町条例他との関連について。 ①ハラスメント防止対応策はどうしているのか。 ②相談から解決までのプロセスの検証と、再構築の必要性について。 ③企業・事業所他、町全体への啓蒙活動は。	町 長 教 育 長